

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	PEM+CBDCA
診療科名	呼吸器内科
診療科責任者名	金子 教宏
適応がん種	進行NSCLC*
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	NSCLC-31
登録日・更新日	登録日2009年7月29日・更新日2023年6月22日
削除日	
出典	JCO 2009:27:3217
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	ペムトレキセドナトリウムヘミペンタ水和物 (ペムトレキセド点滴静注液)	100mg、500mg、800mg	500mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	10分	Day1
	生理食塩液	100mL				
No.2	カルボプラチン (カルボプラチン点滴静注液)	50mg、150mg、450mg	AUC5	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	1時間	Day1
	生理食塩液	250mL				

1コースの期間	21日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能(日) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<p>【1コース目開始基準】 Ccr\geq45mL/min 75歳以上の患者には25%減量して開始する</p> <p>【2コース目以降開始基準】 ANC\geq1000/mm³ Plt\geq7.5万/mm³ Ccr\geq45mL/min Grade3or4の副作用が回復している 開始基準を満たさないとき1週間延期する</p> <p>【25%減量基準】 ・Day22(次コースのDay1)において 1000\leqANC$<$1500/mm³ 7.5万\leqPlt$<$10万/mm³ ・nadirANC$<$500/mm³ Grade3or4の副作用の発現あり</p> <p>【50%減量基準】 ・nadirPlt$<$5万/mm³ Grade3or4の粘膜炎(口内炎)</p> <p>【中止基準】 2回の減量後に減量基準に該当するとき 21日以上投与延期しても開始基準を満たさないとき</p>
前投薬	<p>5-HT3受容体拮抗型制吐剤 + デキサメタゾン</p> <p>ペムトレキセド初回投与の7日以上前から葉酸として1日1回0.5mg(ノパンビタン1g)を連日経口投与する (ペムトレキセドの投与を中止又は終了する場合には、最終投与日から22日目まで投与する) ペムトレキセド初回投与の7日前にビタミンB12として1回1mg(メコバミン注2A)を筋肉内投与する (ペムトレキセド投与期間中及び投与中止後22日目まで9週ごと(3コースごと)に1回投与する)</p>
その他の注意事項	<p>*根治的放射線照射ができない場合(Stage III Bの癌性胸水・癌性心嚢水貯留例、Stage IVなど) ・PS0~2</p>

記入者	安室 修
確認者	三沢 昌史